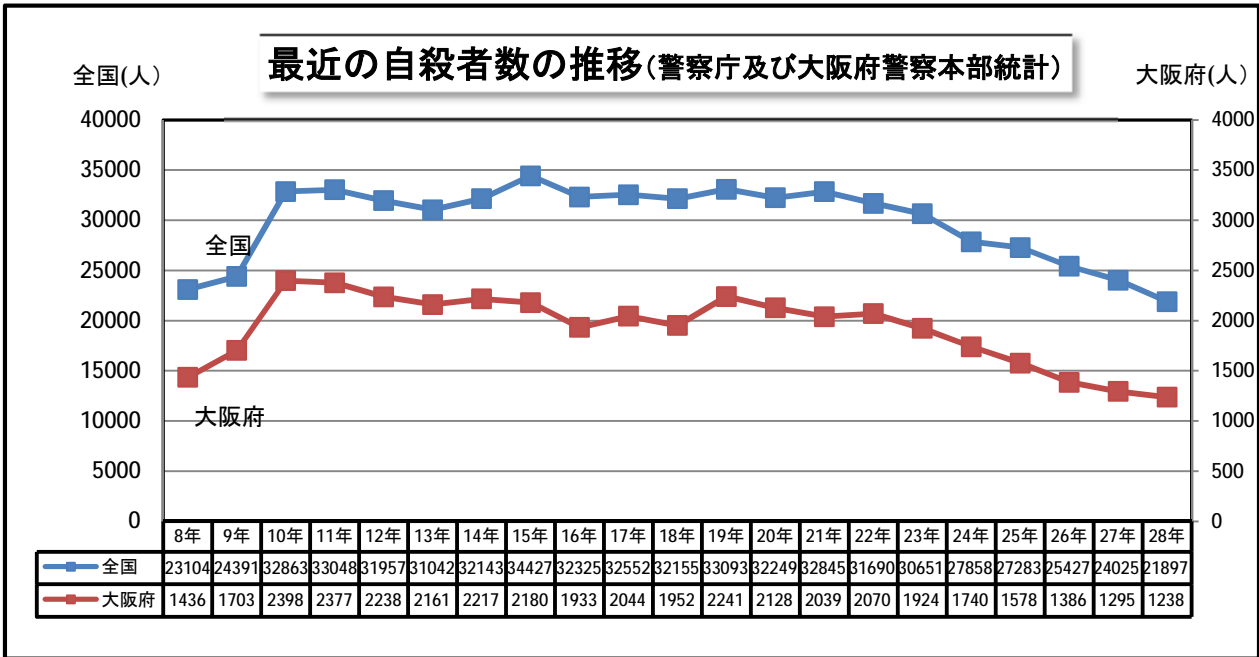


大阪府の自殺の概要<平成28年>

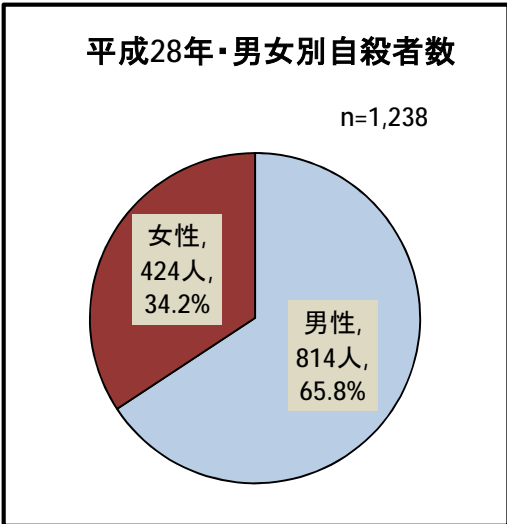
資料1

※警察庁及び大阪府警本部統計(発見日・発見地)

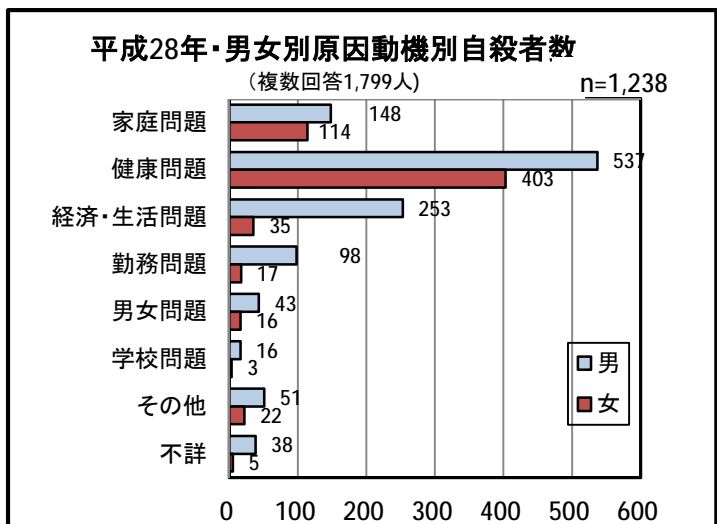


全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年か減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

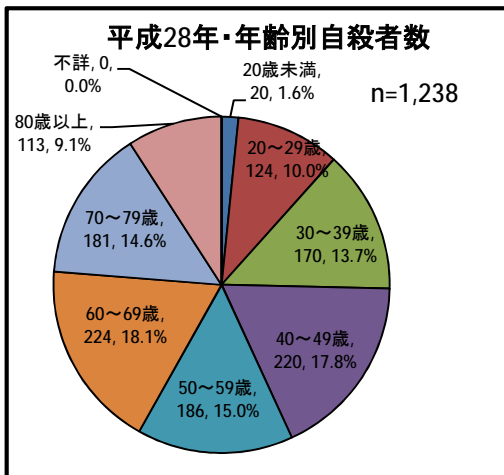
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり2千人を下回りました。平成28年は前年より57人減の1,238人と年々減少していますが、依然として1日に3人以上の方が亡くなられています。自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は14.0となっています。



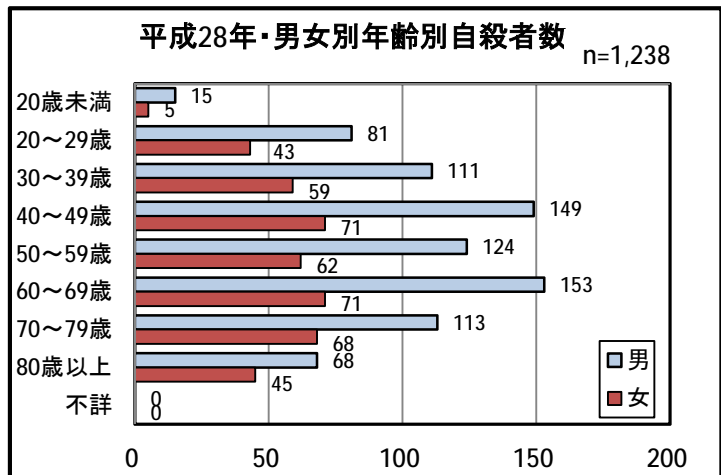
男女別自殺者数は、男性が814人(65.8%)、女性が424人(34.2%)となっており、依然として男性の数が女性の2倍弱となっています。



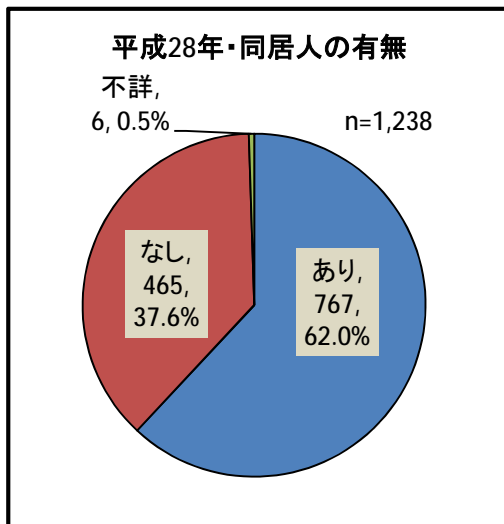
平成19年から原因・動機を3項目まで計上することとしており単純に比較はできませんが、昨年同様「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」の3項目が男女ともに上位を占めています。昨年と比べると、男女合わせて、「健康問題」53人、「経済・生活問題」が29人、「勤務問題」が42人減っています。



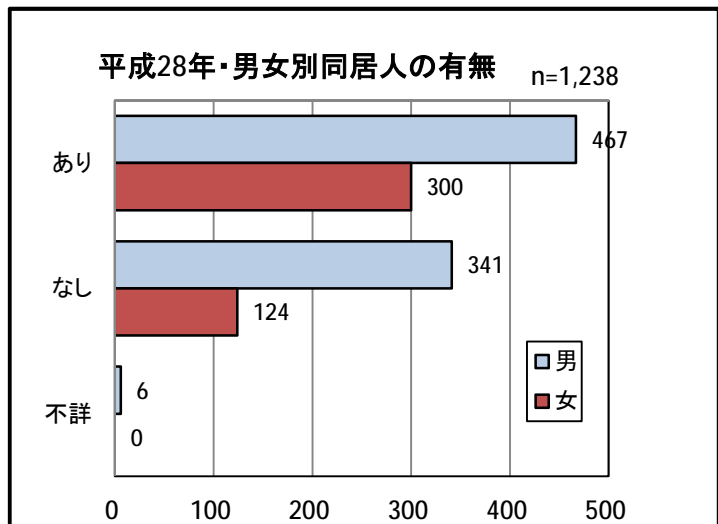
年齢別自殺者数の割合は、今年
は「60～69歳」が224人
(18.1%)と最も多く、次いで
「40～49歳」が220人(17.8%)
と続いており、40歳以上の割合が
全体の4分の3を占めています。



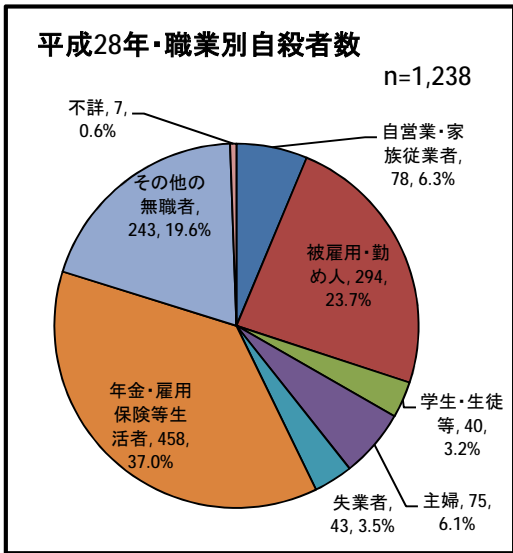
年齢別男女別自殺者数を比較すると、女性は
「40～49歳」「60～69歳」(16.7%)の自殺者数
が多く、男性は「60～69歳」(18.8%)が最も多
く、次いで「40～49歳」(18.3%)が続いていま
す。



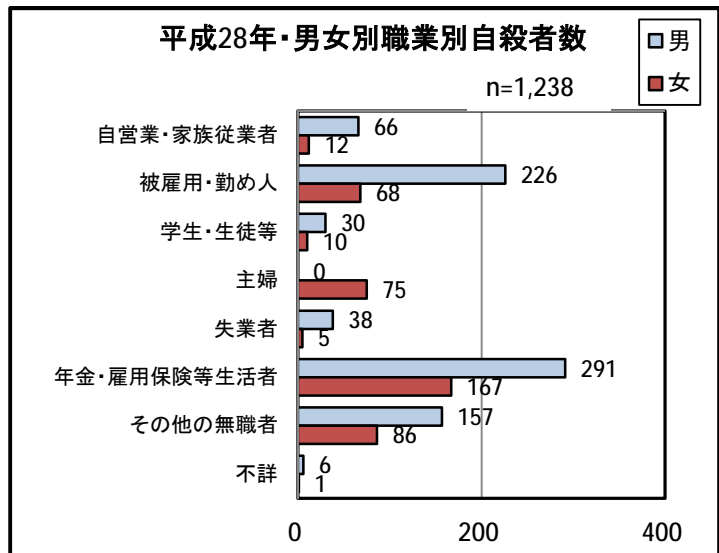
同居人の有無では、自殺者のうち
「同居人あり」が767人
(62.0%)、「同居人なし」が465
人(37.6%)となっており、「同居
人あり」の方が6割強と多くなっ
ています。



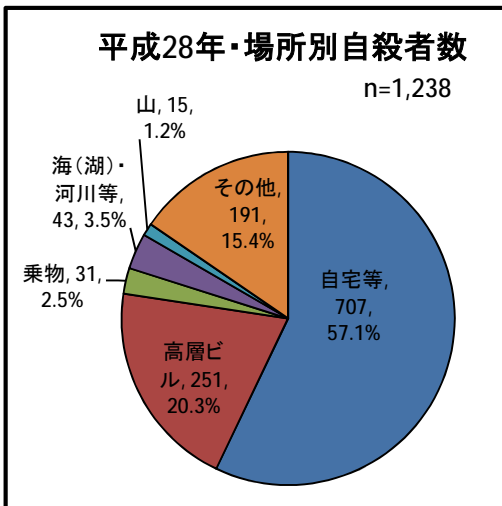
男女別の同居人の有無では、男性467人
(57.4%)、女性300人(70.8%)が「同居人あ
り」で、男性341人(41.9%)、女性124人
(29.2%)が「同居人なし」でした。
割合で見ると、女性の方が「同居人あり」が多
くなっています。



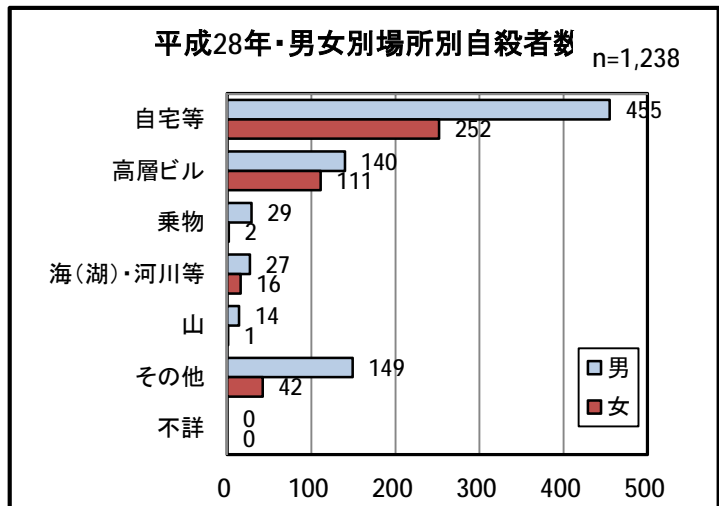
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が458人（37.0%）と最も多く、昨年より112人増えています。次いで「被雇用・勤め人」が294人（23.7%）となっています。



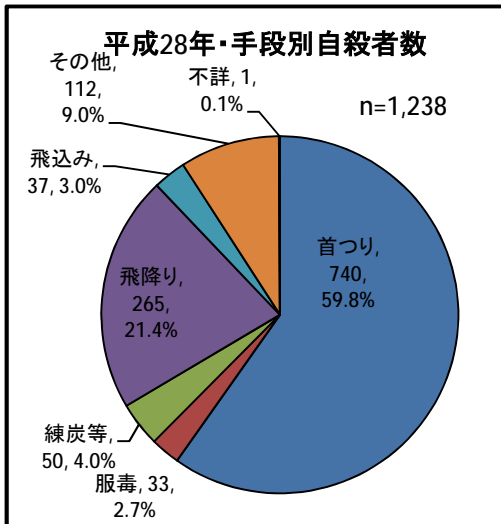
職業別自殺者数を男女別で見ると、男性は「年金・雇用保険等生活者」（35.7%）、次いで「被雇用・勤め人」（27.8%）が多く、女性は「年金・雇用保険等生活者」（39.4%）、次いで「その他の無職者」（20.3%）が多くなっています。



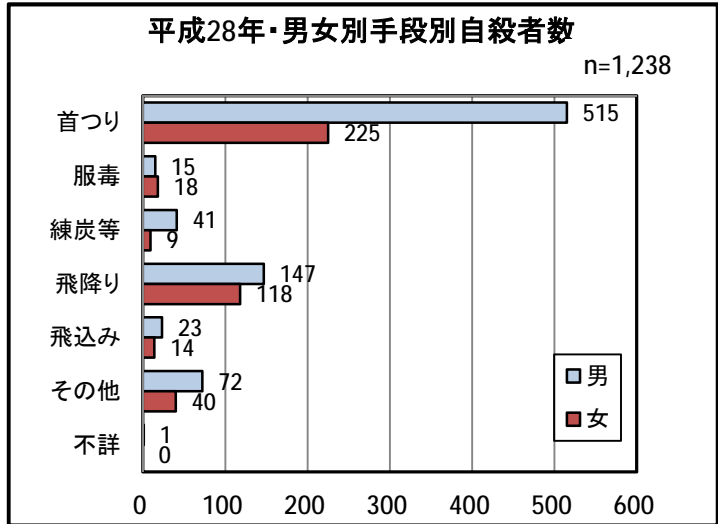
場所別自殺者数では、「自宅等」が707人（57.1%）と6割弱を占めています。次いで「高層ビル」が251人（20.3%）と続き、昨年より47人増えています。



男女別で場所別自殺者数を見ると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで男女ともに「高層ビル」と続いています。

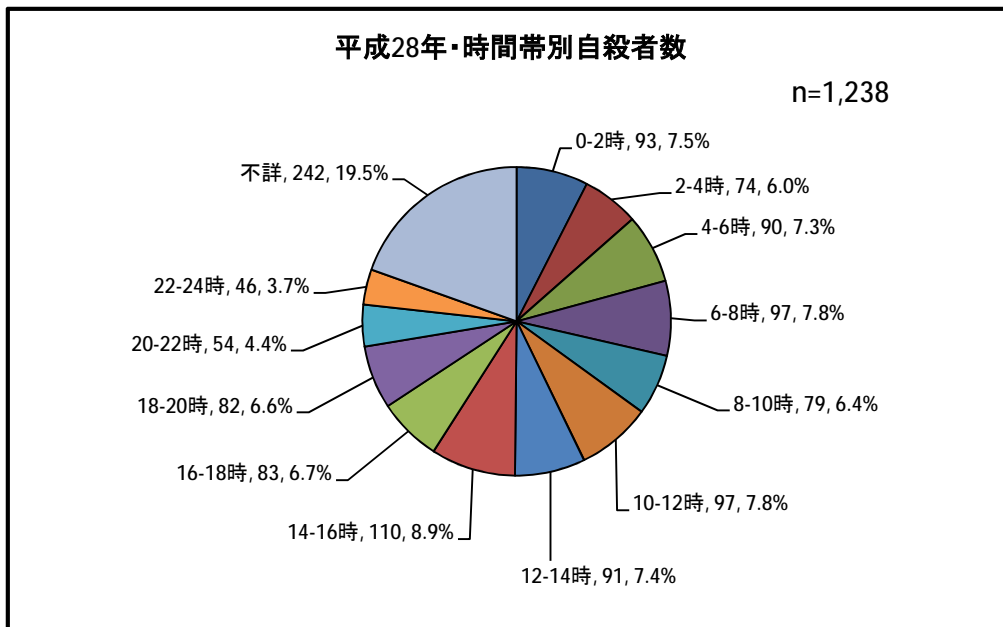


手段別自殺者数では「首つり」が740人（59.8%）と6割弱を占めています。次いで「飛降り」が265人（21.4%）となっており、昨年より47人増えています。

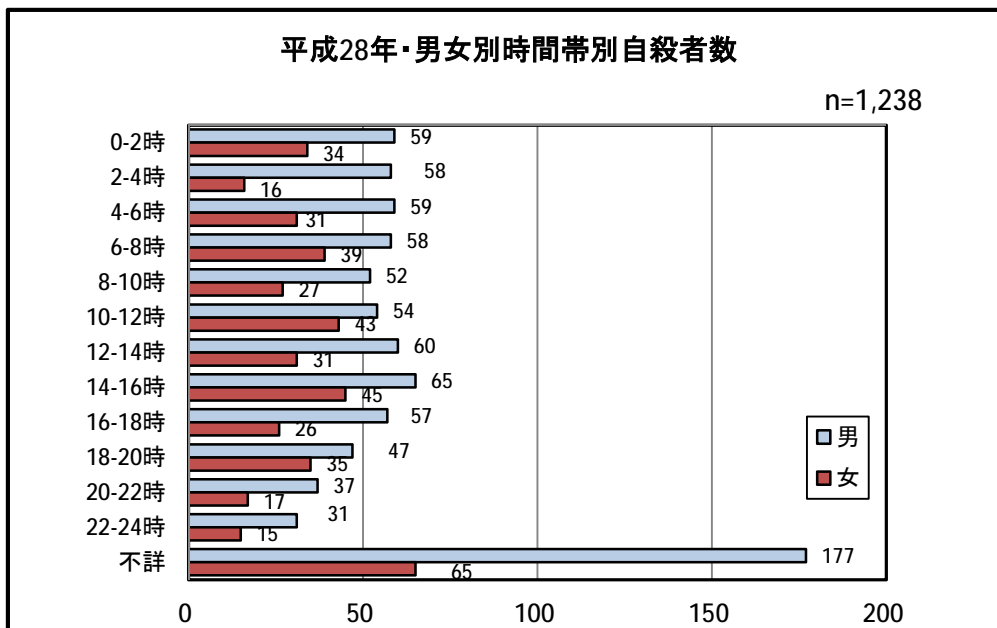


男女別手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。

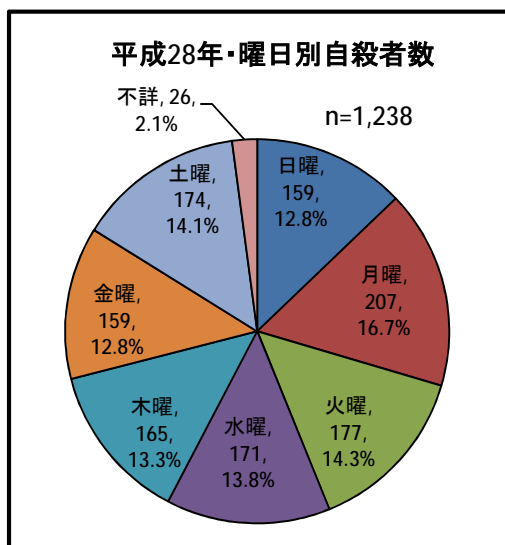
昨年に比べ、男女ともに「飛降り」が増え、男性の「練炭等」も増えています。



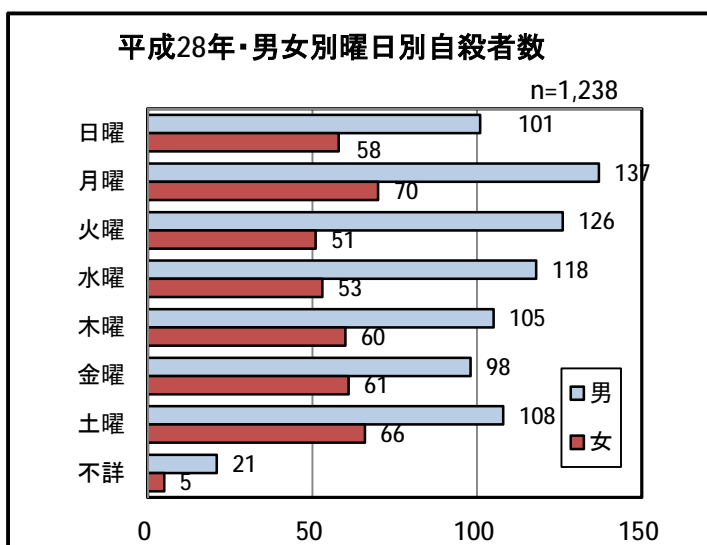
時間帯別自殺者数の割合では、どの時間帯も大差はみられませんが、「不詳」以外で最も多い時間帯は「14～16時」の110人（8.9%）です。逆に少ない時間帯は「22時～24時」46人（3.7%）、「20～22時」54人（4.4%）となっています。



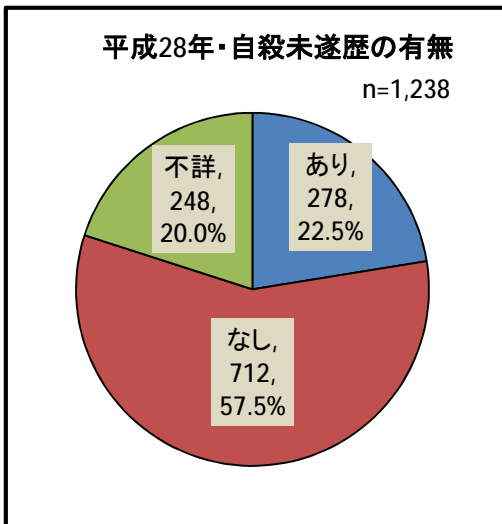
男女別時間帯別自殺者数については、男女ともに多い時間帯は、「14～16時」となっています。



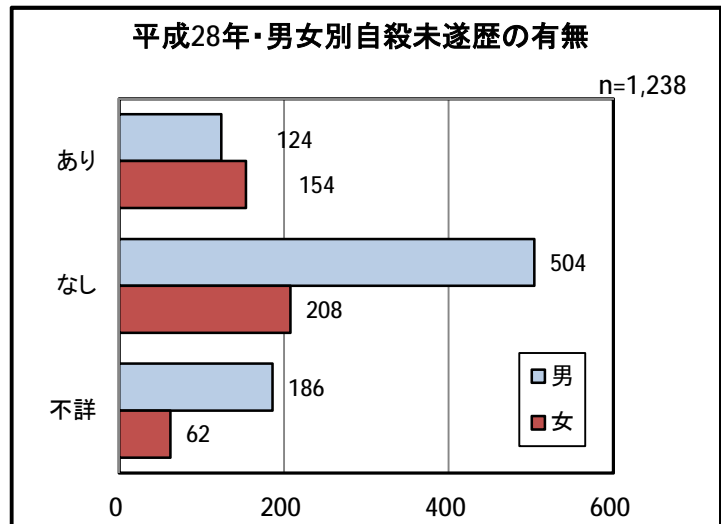
曜日別自殺者数のそれぞれの割合に大きな差は見られませんが、「金曜日」は若干少なく、週始めの「月曜日」が若干多い傾向にあります。



男女別では、男女とも「月曜日」が多くなっており、次いで男性では「火曜日」、女性では「土曜日」が多くなっています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は278人（22.5%）、「なし」は712人（57.5%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は124人（15.2%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は142人（33.5%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が2倍以上多くなっています。